岡崎市制100周年記念事業
岡崎まちものがたり

安藤川の改修記念碑

安藤町の安藤川沿いには 2 つの記念碑が立っている。安藤川の改修記念碑と杉浦定吉の碑である。安藤川は岡崎市天白あたりから、六ッ美地区の田畑の小悪水を集め、悪水路となり矢作古川に流れている。

1882（明治 15）年の水害のあと、愛知県では、この難所を開拓するために悪水路の改修を計画した。これが，安藤川第一期の改修工事であり、このときから「野川」を「安藤川」と改名した。1898（明治 31）年に、大改修の協定ができ、安藤川悪水普通水利組合ができた。これ以来、安藤川の改修は着々と進められ、1900（明治 33）年に工事施工、1901（明治 34）年に竣工した。1912（明治 45）年にこのような大改修工事の竣工したことを、後の世に伝えるために、安藤地内に記念碑を建て、工事の沿革を記し、功績者である杉浦定吉を讃えた（杉浦定吉の碑）。

杉浦定吉は度量が広く勤勉で、村々に悪水排除の方法を主唱し、水路をつくることを郡村で協議していた。1898（明治31）年、水利組合委員会を設けたが議論は流れ、1900（明治33）年3月になってやっと議決し工事は着工した。定吉は率先して奮い立ち、多くの困難を排して工事に責任を持って取り組んだ。その結果、改修工事は1901（明治34）年3月に竣工した。

もう一つは、昭和になってからの改修工事である。安藤川普通水利組合は、1930（昭和 5）年に事務所を中島町に移して、安藤川改修を内務省に陳情した。その結果、県土木部直営で 1943（昭和 18）年に工事を着手した。1944（昭和 19）年に東海地震に遭遇し、1945（昭和 20）年には三河地震に遭遇した。また第 2 次世界大戦が身辺に拡大し、人命は奪われ国情は悲惨この上もなかったが、農兵隊等の応援により工事を続行した。従来の計画より大幅に遅延したものの 1951（昭和 26）年に幹線第一期工事が完成した。1961（昭和 36）年には伊勢湾台風の復旧工事である、幹線第二期工事が施工される。記念碑は 1966（昭和 41）年に建立された。

安藤川改修記念碑群 安藤町 20150726

安藤川改修記念碑
1966(昭和41)年建立
20150726

・安藤川改修記念碑（表面）

改修記念碑
安藤川排水土地改良区
岡崎市長　太田光二書

・安藤川改修記念碑（裏面）

沿革

安藤川悪水普通水利組合は昭和五年四月一日事務所を中島町に移轉して業務を開始す　安藤川幹線の改修を内務省に陳情の結果採擇せられ県土木部直営にて昭和十八年四月一日工事に着手　昭和十九年及二十年の三河地方大震災に遭遇し第二次大戦が身辺に擴大し人命はうばわれ家屋の倒壊相継ぎ悲惨此の上もなき国情なりしも農兵隊消防学生地方民婦女子の應援と勤労奉仕等の過程を経て工事を続行した　震災被害状況を建設省治水課に陳情したる結果従来の計画を大巾に変更せられて次のとおり昭和二十六年三月三十一日幹線第一期工事完工す　施工箇所西尾市高河原町地内より上流岡崎市在家町地内まで施工延長八千八百十五米　総工事費四千八百九十萬円　昭和二十七年六月二十一日法令改正にて安藤川排水土地改良区と組織変更す　幹線第二期工事(伊勢湾台風復田工事)施行箇所西尾市高河原町地内より上流西尾市江原町地内まで延長二千三百六十四米工費三千三百七十萬円にて昭和三十六年十月より昭和三十八年三月にわたり施工竣功す　六ッ美地区支川改修工事　農林省建設省補助にて赤渋支川中の郷支川を含む宮地支川牧御堂支川を含む合歓木支川は昭和三十年着工昭和三十五年竣工にて総延長一萬一千二百三十米を両岸石垣護岸を以て総工事費五千八百四十七萬七千六百九十七円にて完工す　以上の改修工事は過去二十年の歳月を費し完成したもので今この幹支川を見るに洪水による破堤を防ぎ耕地の氾濫を免れて増産の念を盛にする世紀の経緯を記して永久の資に供せんとす

昭和四十一年三月三十日建立

[太田光二（1900～1973）]

太田 光二（おおた みつじ）は、政治家、新聞記者。第 13-15 代岡崎市長（3 期）、愛知県議会議員、岡崎市議会議員、全国市長会副会長、日本消防協会副会長などを歴任した

本項は以下の資料を引用している。

[六ッ美南部の歴史・文化を紐解く]

著者　　岡崎市立六ッ美南部小学校　高須　亮平
発行日　2012（平成 24）年 3 月 31 日　初版発行
印刷所　ブラザー印刷株式会社